

バイオ

500カプセル入り

バイオはバイオペリンのサプリメントです。バイオペリンはコショウの有効成分であるピペリンというアルカロイドをサビンサ社が特許技術を用いて単離したもので、最低98パーセントのピペリン含有率を保証しています。バイオには他のサプリメントや薬のバイオアベイラビリティを高める働きがあることが証明されており、バイオと他のサプリメントを組み合わせることでそのサプリメントの持つ作用を効率よく引き出すことができると考えられます。バイオによってほぼ全てのサプリメントの働きが向上されるといわれていますが、サビンサ社では特に以下の物質に効果的だと主張しています。

ハーブ：クルクミン、ボスウェリン（ボスウェリア）、アシュワガンダ、イチョウ葉、カプサイシン、アコニチン

水溶性ビタミン：ビタミンB1、ビタミンB2、ナイアシンアミド、ビタミンB6、ビタミンB12、葉酸、ビタミンC

脂溶性ビタミン：ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK

アンチオキシダント：αカロテン、トランスβカロテン、βクリプトキサンチン、リコペン、ルテイン/ゼアキサントキサンチン、松樹皮、ゲルマニウム

アミノ酸：リジン、イソロイシン、ロイシン、セレオニン、バリン、トリプトファン、フェニルアラニン、メチオニン

ミネラル：カルシウム、鉄、亜鉛、バナジウム、セレンウム、クロム、ヨウ素、カリウム、マンガン、銅、マグネシウム（鉛、水銀、カドミウムなどの有害な重金属の吸収は逆に阻害します）

バイオの具体的な働きは次の通りです。

- 他のサプリメントや薬の吸収速度を速めたり吸収率を高めます。バイオには胃腸への血流を増加させる、胆汁酸塩を増加させ乳化を促す（特に脂溶性ビタミンに有効）、アミノ酸の腸から上皮細胞内への運搬にかかわるγグルタミルトランスペプチダーゼという酵素の働きを高める（特にアミノ酸、ペプチド、アミノ酸でキレートされているミネラルに有効）、ビタミンB12の吸収に必要な糖タンパク質（内因子）の合成や分泌を刺激する（特にビタミンB12に有効）、膜透過における能動輸送を促進させる（特にミネラルに有効）といった働きがあります。この作用はピペリンの摂取量が少なくても発揮されます。
- 特に生体異物として認識されるサプリメントや薬を体内に長くとどまらせます。物質を分解・代謝するチトクロムP450という酵素を阻害する、水溶性の物質に転換し不活性化するグルクロン酸抱合という反応に必要なグルクロン酸の合成を抑制する、物質を排出するP糖タンパク質というトランスポーターを阻害するといった働きが確認されています。この作用はピペリンを一日合計20ミリグラム以上摂取した時に発揮されるといわれています。
- 熱発生を高めます。カテコールアミンの分泌を促したり自身がβ1、2、3受容体に直接作用します。また、甲状腺ホルモンの合成に必要な甲状腺ホルモンペルオキシダーゼという酵素を活性化させT3、T4レベルを増加させます。
- 穏やかな鎮痛作用があります。温度受容体を活性化させることで、痛みの刺激の伝達を阻害したり痛みに対する受容体の感受性を低下させます。また、脳内のβエンドルフィンレベルを高めます。

構成成分（1カプセルあたり）

バイオペリン 5mg

その他の成分：ビール酵母、被包剤（ゼラチン）

使用例：一日3回、1カプセルずつを特に吸収を高めたいサプリメントと一緒に摂ってください。また、薬の代謝を阻害し、薬効を持続させたい場合は一日合計4カプセル以上お摂りください。